



市民の声を市政に反映

杉森ひろゆき

市議会議員 ニュース

杉森弘之後援会広報委員会発行
713号 2018年6月12日
 〒300-1235 牛久市刈谷町1-41-8
 TEL・Fax : 870-0335
 携帯 : 090-5587-7693
 Mail : sugimori@max.hi-ho.ne.jp

明石市

合理的配慮の助成

みんなが入れるお店

「みんなが入れるお店を増やす講演会」が5月18日、つくば自立生活センターほにやらの主催で開かれ、杉森議員も参加しました。

当日は主催者挨拶を代表の川島映利奈さん、来賓挨拶をつくば市生涯学習課課長の根本祥代さん、講演は兵庫県明石市障害施策担当課長の山田賢さんが「明石市の合理的配慮の助成制度について」と題して以下の要旨でおこないました。

障害者差別解消法を受け

2013年に障害者差別解消法が成立し、明石市では2014年に障害福祉課に障害者施策担当を新設。誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて、5つのステップを設け、①手話言語の確立、②多様なコミュニケーションの促進、③障害者差別解消条例の制定、④合理的配慮への公的助成、⑤誰もが暮らしやすいまちへ、を押し進めた。

①と②において、手話言語条例と情報コミュニケーション条例を統合し、**手話言語・障害者コミュニケーション条例**を2014年に施行した。

③と④において、**障害者に対する配慮を促進し誰もが安心して暮らせる共生のまちづくり条例**(明石市障害者配慮条例)を予算とセッ



労働者の権利が壊される①

恐ろしい高プロ制度

安倍首相による「働き方改革」の危険性は、労働者の仕事も暮らしも壊されるということにあります。労働法制改悪阻止！全国キャラバンがわかりやすいパンフを作成しました。以下に4号連載でその内容を紹介します。

~~~~~

「高度プロフェッショナル制度」とは、対象となる労働者について、労働基準法で定める労働時間(時間外規制)休憩時間、休日及び深夜の割増賃金に関する規定をすべて外すというものです。新たに、年104日の休日が義務づけられますが、これは一年間のうち、上日以外は全て働けということです。更に、4週間(28日間)のうち4日の休みを労働者に与えれば、残りの24日間は休みなく働かせ続けることも「可能」だということです。

このような制度は絶対に認めてはいけません。「成果で報酬を払う」などと言われますが、「成果」の基準はなく、また成果に応じた報酬を義務付ける規定は、この制度のどこにもありません。まさに「働かせ放題・過労死促進法」にほかなりません。

トで2016年に施行した。

明石市における合理的配慮の提供を支援する助成制度は、障害のある人もない人もともに安心して暮らせる共生のまちづくりを推進

していくために、事業者や地域の団体が障害のある人に必要な合理的配慮を提供するためにかかる費用を助成するもの。

## 助成の概要

助成の制度を利用できる団体は、①事業者など民間の事業者、②自治会など地域の団体、③サークルなど民間団体。

助成の対象は、①コミュニケーションツールの作成（点字メニュー、チラシの音訳、コミュニケーションボードなど）で上限額5万円、②物品の購入（折りたたみ式スロープ、筆談ボードなど）で10万円、③工事の施工（簡易スロープや手すりなどの工事）で20万円。

## 啓発事業の重視

どんな配慮があれば助かるのかを知ってもらうために、お店の人に配慮の具体例を示す努力をした。

そして制度利用を広げるために、①事業者のキーパーソンに利用してもらう（商工会議所、商店街組合連合会、飲食業組合など）、②みんなの知っているお店に利用してもらう（地元の老舗、人気店、有名店など）、③地域に人が集まるところで利用してもらう（駅前、地域の拠点、高齢者や子どもも集まる場所）などに努めた。

また、筆談ボードがあっても筆談することに慣れていない店員さんがいるため、**筆談入門ガイド**を作成し配布した。

応対方法を知りたいという要望に応え、商工会議所と共催で障害理解の研修会を年2回開催している。

## 利用状況

2016年の**実績**は、予算額350万円に対し、



## とめよう！東海第2原発 首都圏連絡会結成

事故の危険性が最も高いといわれる東海第2原発の延長・再稼働を止めようと、5月21日、参議院議員会館で首都圏連絡会の結成集会が開催され、首都圏各都県から250名が参加し、杉森議員も参加しました。

前段には、東海第2原発の再稼働に反対する茨城県自治体議員連盟と国会議員の超党派「原発ゼロの会」が意見交換しました。

申請件数150件、執行金額約280万円。2017年は121件、約150万円。

**内訳**は、コミュニケーションツール（点字メニュー）25件、物品の購入（折りたたみ式スロープ、筆談ボード）237件、工事の施工（段差解消、手すり取り付けなど）9件。

**業種別の内訳**は、飲食店・商店等131件、クリニック・薬局9件、自治会3件、ホテル・旅館4件、理髪店2件、教会1件。

## 利用者の声

**都きしめん**では、長年この店に通っている聴覚障害の方が、筆談ボードで、「麺が普通の麺と分厚い麺の2種類あります。どちらになさいますか？」と聞かれ、麺が2種類あることを初めて知ったと喜ばれた。

**スターバックス**では、いつもカフェオレを注文していたが、ミルクを低脂肪乳にするなど、メニューに書いている以外のオーダーができることを、筆談ボードで初めて知った。

**くるみや本店**では、入り口に折りたたみ式スロープを設置して、車いすもベビーカーも入りやすくなった。